



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第179号 (平成 29 年 9 月 15 日)



(目 次)

- 1 <林野庁プレスリリースから>
「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム」の開催及び参加者の募集について
- 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(120)
- 3 <森林・林業白書から> 都市部の駅舎を木造で改修
- 4 <樹木のことなど100> テイカカズラ
- 5 <イベント情報>
 - ◆ 安曇野 森の楽校2017
- ☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》
《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》
一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



1 <林野庁プレスリリースから>
「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム」の開催及び参加者の募集について

林野庁は、平成 29 年 11 月 23 日(木曜日)にサンライフ南相馬(福島県南相馬市)において、平成 29 年 12 月 3 日(日曜日)に明治大学駿河台キャンパス(東京都千代田区)において、「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム」を開催します。

本シンポジウムは公開です。また、カメラ撮影も可能です。

1 概要

林野庁では、東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の影響を受けている森林・林業の再生を図るため、森林内の放射性物質の動態把握や林業再生に向けた技術の実証などに取り組んでいます。

本シンポジウムは、これまで得られた知見や成果などを、地域や都市住民の皆様に分かりやすく伝え、福島の森林の現状を御理解いただきながら、幅広い関係者の参画・連携の下で、福島の森林・林業再生に向けた取組を推進するために開催するものです。

2 開催日時及び場所

(1)福島会場

日時:平成 29 年 11 月 23 日(木曜日)13 時 30 分~16 時 30 分

会場:原町生涯学習センター「サンライフ南相馬」集会室

所在地:福島県南相馬市原町区小川町 322-1

(2) 東京会場

日時:平成 29 年 12 月 3 日(日曜日)13 時 00 分~16 時 15 分

会場:明治大学駿河台キャンパス「リバティホール」

所在地:東京都千代田区神田駿河台 1-1 リバティタワー1 階

3 主な内容

(1) 福島会場

テーマ:「現場から発信する復興へのチャレンジ林業再生の取組と放射性物質の現状と今後の見通し」

プログラム

- 1)研究報告「森林の放射性セシウム分布の現状と今後の推移」(国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所藤原健氏)
- 2)福島県の取組報告「福島県の森林・林業再生に向けた取組」(福島県内市町村)
- 3)森林・林業の復興・再生に向けた活動報告
事例 1:木材流通の現場から
事例 2:きのこ生産の現場から
事例 3:木材利用の現場から

(2) 東京会場

テーマ:「産地と消費者の連携で復興への取組を広げよう林業再生の取組と放射性物質の現状と今後の見通し」

プログラム

- 1)研究報告「森林の放射性セシウム分布の現状と今後の推移」(国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所平井 敬三氏)
- 2)福島県の取組報告「福島県の森林・林業再生に向けた取組」(福島県内市町村)
- 3)ビデオレター上映「林業・木材産業・特用林産経営等の復興・再生に向けた活動事例」
- 4)特別リポート「飯舘村における農業復興支援の取組」(明治大学農学部 登尾 浩助氏)
- 5)インタビュー座談会「復興に向けて消費者と生産者の連携」
武藤 一夫氏(NPO 法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会 理事長)
安斉 雄司氏(生活協同組合パルシステム福島 専務理事)
小山 良太氏(福島大学 経済経営学類教授)

4 参加定員

(1) 福島会場

100 名(希望者多数の場合は抽選)

(2) 東京会場

200 名(希望者多数の場合は抽選)

なお、福島会場及び東京会場の両会場で、アンケートにお答え頂いた方に福島県産品を差し上げます。

5 参加申込要領

(1) 申込方法

参加を希望される方は、「インターネット」又は「郵便・FAX」にて、以下の申込先に、会場名（福島又は東京）、氏名（フリガナ）、住所（市町村名まで記入）、性別、年齢、職業、電話番号（携帯番号も可）を御記入の上、お申し込みください。

<インターネットによるお申込先>

http://www.ringyou.or.jp/hukyu/detail_1420.html

<郵便・FAX によるお申込先>

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル

一般社団法人全国林業改良普及協会シンポジウム事務局宛て

FAX 番号:03-3583-8465

(2)申込締切

①福島会場 11 月 6 日(月曜日)17 時 00 分(必着)

②東京会場 11 月 17 日(金曜日)17 時 00 分(必着)

(3)抽選の実施

希望者多数の場合は、抽選を行います。

抽選に漏れた方については、開催日の 1 週間前(福島会場は 11 月 17 日(金曜日)、東京会場は 11 月 27 日(月曜日))までに電子メール又は電話にて御連絡いたします。

なお、お申込みによって得られた個人情報に厳重に管理し、参加の可否確認等御本人への連絡を行う場合に限り利用させていただきます。

2 <コラム> 森林環境教育の現場から(120)

北海道名寄市の郊外の小学校地区の神社山祭りがあり、祭りの最後に子どもたちで樹名板をつける活動を織り込みました。全校生徒が 19 名ということから、樹名板 20 枚、樹種 15 種類にしました。事前に希望樹木を決めているので、進行はスムーズです。最後に神社山の木の王様ミズナラの大木に全員で樹名板を付け記念撮影、「みんな頑張って樹名板つけたね！これからは自分の木としてよく観察してください。」「は～い」ご機嫌です！「せっかく、樹名板をつけたから木の名前と特徴を覚えようね！次は、1本ずつ詳しく説明するね！そして、その次には子ども樹木博士の試験をするからね！頑張ってお覚えようね！」「えっ・・・試験！」この言葉に子どもたち全員顔が引きつりました！アクティブ・ラーニングも大切ですが、その前に知識も大切です。さあ、どうなることでしょう・・・！？

(森林インストラクター 柳原 高文)

3 <森林・林業白書から>都市部の駅舎を木造で改修

平成 28(2016)年 10 月、東急電鉄戸越銀座駅(東京都品川区)の木造の駅舎が竣工した。開業から約 90 年使われた木造の旧駅舎を改修したもので、東京都内の多摩地域で生育し、生産された木材(多摩産材)を約 120 m³ 使用し、ホーム屋根の建て替えと延伸等を行ったほか、トイレの建て替え、駅舎の内外装リニューアルを実施した。

木造の温かみのある雰囲気を受け継ぐだけでなく、木を使うことで駅構内での重機使用を最小限に抑え、隣接する住宅や店舗に対する深夜の騒音、振動等の影響も減

らすことができた。改修に当たっては、地域の人々や駅の利用者の意見を参考にする
とともに、多摩産材の産地の山林や原木市場、製材工場等の見学ツアーを開催したり、
地域の人々とともに製作した木製のベンチを駅に設置するなど、地域と一体になった
取組を実施した。

(平成27年度森林・林業白書 事例から)

4 <樹木のことなど100> テイカカズラ

テイカカズラは、キョウチクトウ科のつる性常緑植物で、花が美しいこと、香りがよい
ことや葉っぱの大きさに変異が多いなど植物観察会などでは多くの人たちに人気のあ
る定番の観察対象です。後白川法皇の第三皇女の式子内親王を愛した藤原定家が実
らなかった恋の執念で病死した式子内親王の墓に蔦かずらになってからみついたとい
う話を脚色した謡曲「定家」にちなんで名づけられたと伝えられています。式子内親王
は幼くして賀茂神社の齋院、神に仕える身となり 49 歳で病死したといわれます。なお、
テイカカズラには、まさきのかずら(真折の葛)という古名があります。これはツルマサキ
の古称で神事に用いたと言われます。

(子ども樹木博士ニュース「質問コーナー(堀内孝雄先生)」から)

5 <イベント情報>

◆ 安曇野 森の楽校2017

JUON NETWORK が全国16ヶ所で開催している、森づくり体験プログラム「森林の楽校
(もりのがっこう)」。

北アルプスの麓、雄大な景色の長野県安曇野市にて、リンゴ畑が広がる扇状地や、眺
望の素晴らしい草原で、人と自然の関わりを、学習・体験・交流する 2 日間。

森林作業は、特長の異なる 2 つの場所で行います。その 1 つ、長野県でも稀な草原環
境が残された長峰山では、草原性植物を復活する作業も体験できます。

首都圏や名古屋はもとより、関西圏からも来られるよう、集合解散時刻に余裕を持た
せています。お気軽にご参加下さい。初心者大歓迎。

【と き】 2017 年 10 月 28 日(土)~29 日(日) 1泊2日

【ところ】 長野県 安曇野市 三郷小倉地区・明科光地区

【宿 泊】 安曇野地球宿

〒399-8103 長野県安曇野市三郷小倉 4028-1

<http://chikyuyado.com>

※古民家を活かした、ゲストハウスです。

【集 合】

▼公共交通機関でおいでの場合

「松本」駅 アルプス口(西口)ロータリー 11:10

▼自家用車でおいでの場合

安曇野地球宿 11:30

【内 容】

◇森林作業体験(間伐、枝打ち、除伐、草刈り、枯れ草運びなどから調整中)

◇地元の方々との交流

◇温泉(展望露天風呂付き)

[オプションコース]

▼リンゴ狩りコース

リンゴ収穫・買い物

▼ワインコース

ワイナリー見学・試飲・買い物

【定 員】 15名

【締 切】 10月20日(金)

※締切日過ぎてのお申込みはご相談下さい。

【主 催】 安曇野市「さとぷろ。」

<http://azumino-satopro.org/>

認定 NPO 法人 JUON NETWORK

【協 力】 NPO 法人 森倶楽部21

<http://mori21.com/>

【費 用】

◇参加費(昼食、資料代、保険料等)

学生・会員: 2,000 円／一般: 4,000 円

※当日のご入会でも会員割引が適用されます。

◇宿泊料・食費(1泊＋夕食＋朝食)

5,000 円

◇交流会の飲み物代

実費(500～1,000 円程度の見込み)

◇松本駅からの送迎

無料(主催者側で負担するため)

※それ以外の手段で来られる方は、現地までの交通費は各自ご負担下さい。

◇[オプションコース]

リンゴ狩りコース: 実費(1,000 円～2,000 円程度で、当日各自選択)

ワインコース: 無料

※多少の雨でも実施しますが、内容が変わることがあります。

◆10月28日(土)

11:10 松本駅 “アルプス口” ロータリー 集合・出発

11:30 「安曇野地球宿」集合、開校式

12:00 昼食(各自持参した物)

13:00 森林作業体験【室山】

15:30 入浴【フィンビュー室山】

17:00 楽習会【地球宿】

「長峰山における里山再生への取り組み」ほか

19:00 夕食・交流会【地球宿】

◆10月29日(日)

8:00 朝食

9:00 森林作業体験【長峰山】

12:00 昼食【天平の森】

13:00 ふりかえり会・閉校式【天平の森】

14時頃 現地解散、松本駅まで送迎(15時頃 到着予定)

自家用車の方はその後地球宿まで送迎(15時半頃 到着予定)

↳ 希望者はオプションコースへ↓

◆オプションコース

14時頃 「森林の楽校」閉校式終了後、移動

◇リンゴ狩りコース

◇ワインコース

17:00 解散、地球宿／松本駅まで送迎(17時半頃 到着予定)

【問合せ・申込み先】

認定特定非営利活動法人 JUON NETWORK(樹恩ネットワーク)

〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協杉並会館内

Tel: 03-5307-1102 / Fax: 03-5307-1091

E-mail: juon-office@univcoop.or.jp

<http://juon.univcoop.or.jp/>

※本ネットワークの「イベント情報」(<http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>)にご登録
いただいたイベントや事務局にご連絡いただいた情報等の中から紹介します。

=====
☆ 事務局から

=====
「樹木のことなど」が今号で100回目となります。この記事は、全国森林レクリエーション協会が事務局を務める「子ども樹木博士認定活動推進協議会」が四半期に一度発行している「子ども樹木博士ニュース」に掲載している質問コーナーの記事を転載してきたものです。既掲載記事のストックとの関係もあり、100回を節目としてしばらく掲載をお休みさせていただきます。(K)

~~~~~  
☆☆☆ご投稿等は E-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp) までお寄せください。

[編集発行]

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F

一般社団法人 全国森林レクリエーション協会 森林環境教育ネットワーク事務局

TEL:03-5840-7471 FAX:03-5840-7472 E-mail:[feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp)

URL:<http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

